

重点11品目の備蓄数量

「大阪府域救援物資対策協議会」の「大規模災害時における救援物資に関する今後の備蓄方針について」に基づき備蓄をしています。

※府・市の負担割合は1:1で、一部の品目(哺乳瓶)を除いては、大阪府でも同じ量の備蓄を行っています。

2023年2月時点

品目	単位	算出式 A：上町断層帯地震Aによる想定 避難所避難者数11,000人	目標数			現物備蓄数			保管場所
			①市の 目標備蓄数	②府の 目標備蓄数	市と府の 目標数合計	市の 現物備蓄数	②府の 現物備蓄数	市と府の 備蓄数合計	
食糧 (α化米、ビスコ等)	食	$A \times 3食 \times 1.2 \times 1/2$	19,800	19,800	39,600	31,000	19,800	50,800	明和池公園・近畿道下倉庫・旧三宅小・市役所・市内15小中学校
高齢者食	食	上記で算出した数量のうち、5% (80歳以上人口比率)	990	990	1,980	1,550	990	2,540	明和池公園・近畿道下倉庫
毛布	枚	$A \times 必要枚数2枚/人 \times 1/2$	11,000	11,000	22,000	11,755	11,000	22,755	明和池公園・近畿道下倉庫・旧三宅小・コミュニティプラザ・ 鳥飼倉庫・安威川公民館・51集会所・市内15小中学校
粉ミルク	g	$A \times 1.6\% (0\sim1歳人口比率) \times 70\%$ (人口授乳率) $\times 130g/人/日 \times 1/2$	8,008	8,008	16,016	25,600	8,008	33,608	近畿道下倉庫
哺乳瓶	本	$A \times 1.6\% (0\sim1歳人口比率) \times 70\%$ (人口授乳率) $\times 1本(注)/人$	124	0	124	120	0	120	近畿道下倉庫
おむつ(幼児・小児)	枚	$A \times 2.5\% (0\sim2歳人口比率) \times 8$ 枚(注)/人/日 $\times 1/2$	1,100	1,100	2,200	2,776	1,100	3,876	市役所・近畿道下倉庫
おむつ(大人)	枚	$A \times 必要者割合0.005 \times 8$ 枚 (注)/人/日 $\times 1/2$	220	220	440	220	220	440	市役所・近畿道下倉庫
簡易トイレ	個	$A \times 0.01 \times 1/2$	55	55	110	430	55	485	近畿道下倉庫・鳥飼倉庫・安威川公民館・51集会所・コミュニティ資機材 倉庫
生理用品	枚	$A \times 48\% (12\sim51歳人口比率) \times 52\%$ (注)(12~51歳女性人口比率) $\times 5/32$ (月経周期) $\times 5$ 枚/人/日 $\times 1/2$	1,073	1,073	2,146	11,509	1,073	12,582	近畿道下倉庫・市役所
マスク	枚	$A \times 1/2$	5,500	5,500	11,000	142,850	5,500	148,350	明和池公園・市役所・コミュニティプラザ
トイレトペーパー	m	$A \times 7.5m/人/日 \times 1/2$	41,250	41,250	82,500	43,200	41,250	84,450	市内15小中学校・市役所

【参考】摂津市における想定避難所避難者数

上町断層帯地震A	11,000人
南海トラフ巨大地震	1,276人

※上町断層帯地震等直下型地震における対応期間の考え方

直下型地震では建物倒壊等の被害は甚大であるものの津波や内水面の氾濫等により広大な浸水想定区域の発生が危惧される南海トラフ巨大地震に比べると、その被災面積は限定されることから、発災2日以降は、府内を含め他圏域からの救援物資の到着が見込めると想定し、直下型地震の対応期間は1日間とする。
(大阪府域救援物資対策協議会『大規模災害時における救援物資に関する今後の備蓄方針について』P8参照)